



モーツァルトの愛のメロディ 手彩入ジクレー版画 20F

芸術家は魔術師であり、限りなく多様な色彩を自由に組み合わせることが出来る。自然は、日々折々異なった色帯びながら、刻一刻変化する色彩の調和、その語りかける言葉や表現など、作品の成功のために欠かすことのできない要素のように思える。その時の気分や感情によって、最も落ち着いた柔らかな色を選ぶか、あるいは最も生き生きとした鮮やかな色彩を使うか、いずれにするかには、本当に胸を躍らせるものがある。(中略)

絵を観る人々がイメージを通して自身の夢を感じる事が出来るように、穏やかで冷静な雰囲気を保つよう心がけている。それによって、無意識の深淵から思い出が噴出し、過去の感動が観る人自身のイメージとなるだろう。(画集「自然と愛」より抜粋)



マークエステル  
Marc Estel

## マークエステル・スクアルシャフィキ MARCESTEL SQUARCIAFICHI

- 1943 パリ生まれ。その後、南仏コートダジュールのエズで両親が経営する「バナノレイホテル」に移り住む。
- 1950 フランスのホテル協会会長である父が経営の「カップエステルホテル」に移住し、7歳から50年過ごす。ホテルには世界の著名人が訪れ、若き日の彼の感性を磨いた。近くに住んでいたシャガールは「君は絵描きに向いている。是非画家になったら良い。」と勧めた。
- 1960 パリ大学経済学部で経済学学士号を取得後、ボザール美術学校とカモンド美術館で学ぶ。
- 1968 ラオス・フランス大使館勤務。翌年、モーリス・シューマン外務大臣の秘書となる。
- 1970 大阪万博に訪れた際、清水寺の水墨画の滲みの美しさに感銘を受け、画家に転身。岡本太郎氏との交流が始まる。
- 1981 来日を希望されていたモナコ公国のグレース王妃を神戸ポートピア博覧会に案内する。チャーリー・チャップリン、カラヤン、ザ・ビートルズ、ケネディ家、ボンビドゥー家、デヴィッド・ロックフェラー等と交流を深める。
- 1987 アフリカ、及びアジアの子供達の支援を始める。現在、トーゴ、ブルキナファソ等で4つの学校を運営。
- 1989 ソニーの盛田会長の好意により銀座ソニービル全館を使用し個展を開催。東京渋谷の東急文化村のオープニング企画として個展を開催。
- 1996 伊勢神宮、出羽三山神社より作品奉納の依頼を受けたことを機に全国の神社への奉納を決意。
- 2006 「日本神話 by MARCESTEL」を七か国語で出版。翌年、神道文化会より文化奨励賞を受賞。
- 2008 上野の森美術館にて個展。北京の坦博美術館に常設スペースオープン。
- 2009 南仏 RETIF 美術館オープニング企画に出展。
- 2010 上海万博にアートディレクターとして参画。
- 2011 三浦美術館(松山)にて個展。作品を舞台芸術化したコンサート「神代音絵巻 ～むすひ～」を開催。(サンポートホール高松)
- 2012 作品を舞台芸術化したコンサート「神代音絵巻 ～えひめ～」を開催。(ひめぎんホール)
- 2013 「出雲大社『平成の大遷宮』奉祝奉納公演 絵と音と舞のコンサート～出雲に捧ぐ～」に作品映像提供。(出雲大社 東神苑 特設ステージ)
- 2014 下村文部科学大臣より「文化関係者文部科学大臣表彰」を受賞。
- 2015 九州国立博物館、横浜市大倉山記念館、さいたま市文化センター、クリエート浜松、あわぎんホールにて個展。
- 2016 大東市立総合文化センター、高松シンボルタワー展示場、クリエート浜松にて個展。2010年より銀座アートホールにて毎年個展。パリ、ニューヨーク、ロンドン、ヨハネスブルク、シンガポール、北京、上海等、国内外にて個展多数。サロン・ドートンヌ アジア代表。



会場／ブーミン北野ビル 1F  
神戸市中央区山本通 1-7-9  
JR・阪急・神戸市営地下鉄三宮駅より徒歩10分  
専用駐車場はございません。

一宮神社  
神戸市中央区山本通 1-3-5

主催／株式会社H & T TEL.03-6407-4343  
東京都世田谷区代田 6-6-9-2B  
http://h-a-t.jp E-mail/info@h-a-t.jp  
共催／Artist Gallery LA REINE

展示会及び、奉納に関するお問い合わせは、  
株式会社H & T (03-6407-4343) まで

ブーミン北野ビル



# マークエステル展 The 167th Exhibition of Marc Estel Donation to Ichinomiya Jinja 一宮神社奉納記念 第一六七回



2016 11/22 [火] ▶ 27 [日]  
10:30 ~ 19:00

ブーミン北野ビル 1F 神戸市中央区山本通1-7-9  
主催:株式会社H & T 共催:Artist Gallery LA REINE

表紙絵／須佐之男命に祝福を受ける田心姫命 (奉納作品 部分)

マークエステル展 2016 11/22(火) - 27(日)  
10:30 ~ 19:00  
作家来場日 11月23日・24日・26日・27日



山佐知毘古と豊玉毘売の愛の契り 油彩 30F

日本の精神文化をこよなく愛し、その素晴らしさを世界に発信し続けるマークエステル氏は、1970年の初来日の際、京都の清水寺で水墨画の「滲み」の美しさに感銘を受けたことを機に外交官を辞し、画家へと転身しました。

幼い頃より神話の世界に魅かれ、世界の神話の本を読んでいた氏ですが、日本神話「古事記」との出逢いは運命的で、後にライフワークとして取り組むようになります。1996年に伊勢神宮より依頼を受けたことを契機に始まった神社への作品奉納は、166社を数えます。

この度、167社目となる神戸市の一宮神社への作品奉納を記念し、マークエステル展を開催させていただき運びとなりました。作品奉納と個展開催にあたり、お力添えを賜りました今啓パール株式会社 代表取締役社長 今井啓介様には心より感謝申し上げます。

今企画では日本神話、花東など様々なテーマの油彩画や、ガラス工芸品、ジクレー版画等、代表作約60点を一堂に展示いたしますので、是非とも、この機会にご高覧ください。

株式会社H & T 代表 濱崎佐知子



大自然を慈しむ天照大御神 油彩 30F



喜びの始まりの花束 油彩 10F



静かに夢想される天照大御神 手彩入ジクレー版画 15F

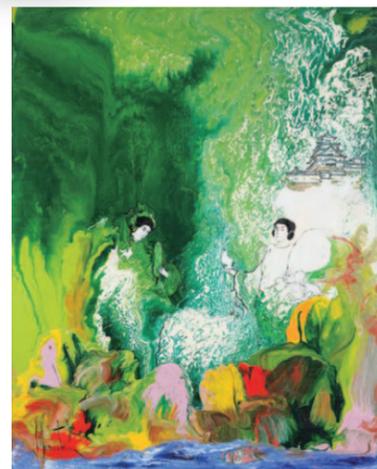


森の中の天使のダンス 型染したシルク到手彩 86×86



手彩入ジクレー版画とは  
ジクレーとはフランス語で「吹き付けて着色する」という意味で、  
現在では高密度デジタル出力の総称として使われています。  
ジクレー版画の上にマークエステル本人が、丹念に手彩を施し、  
サインとエディション、捺印をして完成となります。

射楯兵主神社奉納作品



射楯大神と兵主大神、大自然の愛を広げる  
手彩入ジクレー版画 47.5×38.0



海のみさ 手彩入ジクレー版画 20F



マークエステルが1950年から2000年まで過ごしたホテル「カップエステル」はイタリア語で「星の岬」を意味する。フランスホテル協会の会長である父が経営するこのホテルは、ニースとモンテカルロの間に位置し、壮大な庭園とそれに続く深い紺碧の地中海が混ざり合う格別美しい景観で、訪れる世界の要人達を魅了した。ホテル「カップエステル」は彼の芸術にインスピレーションを与える密かな源泉であり、将来芸術家になる導きとなった。



海の散歩道 20×10×26



天地創造 50×15×50



草の芽生える聖なる地 21×17×27.5



天照大御神と運命の幼い日の愛の想い出 油彩 8F



幸せの歌 油彩 10F

マークエステルについて

自然と人間の持つ神秘性がマークエステルの心を捉えてはなさない。彼の表現は無限に向かって指向する生命の例証であり、深遠で本質的な世界への展望である。私にとって重要なことは、ナショナリズムや国境を超越して、芸術が世界に向かって宇宙に向かって自由に伸びることである。(中略)  
マークエステルが好む素材は、自然に流動する液体のように豊かで、貴重で、まるで祭礼の風のように現れ、よどみなく流れ出る。マークエステルは人間誰しも心の底にある感情、愛や喜び、そして悲しみや郷愁を描写しようと努める。私にとって更に重要なことは、子供の絵に見られるような魔法の魅力を持ち合わせることである。(後略)

岡本 太郎